

NTTソフトウェア

異なるサービス間で安心・安全なID連携を実現した「TrustBind/Federation Manager」

従来型シングルサインオンの課題を解決する「ID連携方式」

Webサービスや企業間システムなどの急増により、それらを管理するためのログイン用ID／パスワードも増え続け、利用者にとって大きな負担となってきている。そこで、強固なセキュリティを維持しつつ、ユーザー情報管理の負担・コストを軽減する技術として、シングルサインオン（SSO）が注目されている。この技術で、ユーザーが一度認証を受けるだけで、許可されているすべての機能を利用できるようになる。

代表的なシングルサインオン技術の方式には、利用するID／パスワードを認証サーバに登録する「アカウントアグリゲーション方式」、ユーザーからの認証をプロキシサーバに受け付ける「リバースプロキシ方式」、Webサイトに認証チケットを受信す

るためのモジュールを組み込んで、認証サーバにアクセス内容を送信する「エージェントモジュール方式」などがある。しかしこれらの方式には、セキュリティや処理負荷の面で課題があった。そこで、新たに考えられたのが「ID連携方式」である。この方式では、Webサイト間のID情報を連携することで、アクセス認証やユーザー属性情報の交換を安全に実現している。ID連携方式により、従来のシングルサインオンの方式の課題を解決できる（図1参照）。

SAML2.0に準拠した連携型ID管理ソリューション「TrustBind/Federation Manager」

NTTソフトウェアは、認証基盤用の連携型ID管理ソリューションとして「TrustBind/Federation Manager」を提供している。

本ソリューションは、NTT情報流



NTTソフトウェア株式会社
営業推進本部
第二営業部 ソリューション営業部門
営業担当主任
永野 一郎氏

通プラットフォーム研究所が開発したID情報流通技術「I-dLive」をベースに商品化している。TrustBind/Federation Managerでは、Webサービスにおけるセキュリティ標準仕様であるSAML2.0（Security Assertion Markup Language）の適合性試験に合格し、標準化団体であるOASIS及びLiberty Allianceの認定を受けている（ID-WSF2.0の対応も検討中）。

SAML2.0は、独立した異なるユーザー体系を有するサービスシステム間で連携するための仕様として策定されており、ID連携によるシングルサインオン技術や、ユーザー情報の交換（属性交換）についても規定している。

統合的なアイデンティティ・ライフサイクルの管理を支援する、多種多様なアプリケーションプラットフォームにより、既存資源の流用によ

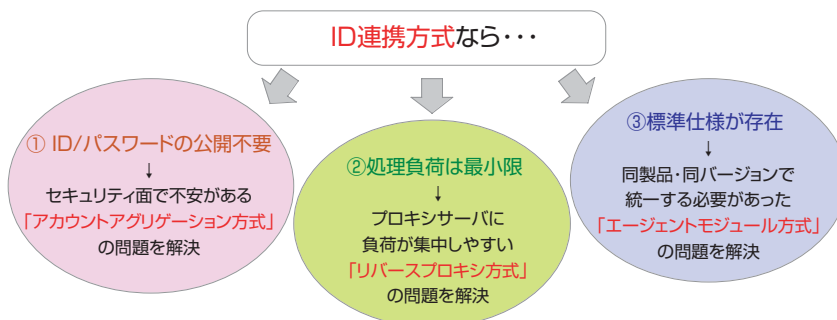


図1 ID連携方式のメリット

る導入コストの削減や、導入期間の短縮が期待できる。既存システムの構成や機能に合わせて、アダプタによる機能の追加／選択が可能である。

本ソリューションの導入により、一度の認証手続きですべてのWebサイトにアクセスできるようになる。また、ICカードや指紋認証などの様々な認証方式にも対応しているので、セキュリティレベルに応じた認証方式を柔軟に選択することが可能である。さらに、ユーザーの属性情報（年齢や会員制サイトのポイント情報など）をサイト間で相互に安全に交換することもできるので、サービスを利用するユーザーの利便性向上に役立つ。

例えば、複数の企業間をまたがるネットワーク上で、各社のWebサイトから認証が必要な場合、TrustBind/Federation Managerを導入すれば、既存のID管理基盤を活用し、ID情報の中身を相手に公開することなく、IDの相互乗り入れを実現することができる（図2参照）。

携帯電話やASP/SaaSサービス等にも連携可能に

TrustBind/Federation Managerは柔軟性に優れ、次のような様々なサービスモデルに適用できる。

- ・ポータルサイト連携モデル：ISPやポータルサイトが所有する大規模なWebサイトのIDを連携し、ユーザーのサイト間での自由な移動を実現する。
- ・企業間連携モデル：公共機関、金融機関、一般企業等において、インターネットを通じて接続してい

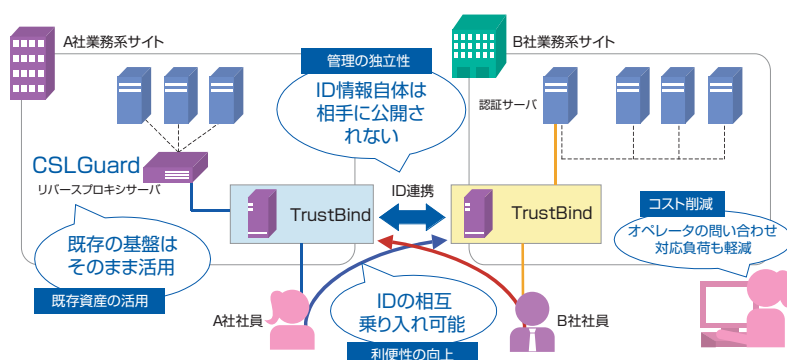


図2 TrustBind/Federation Managerの導入イメージ

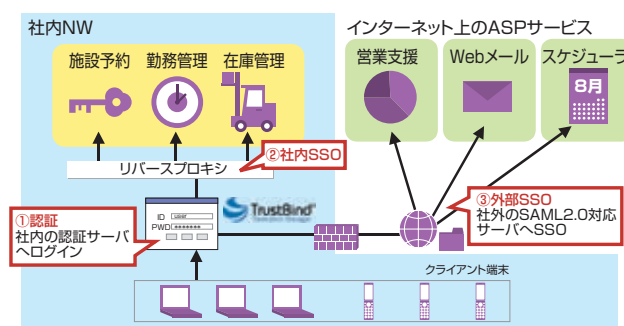


図3 内外連携ソリューションへの適用モデル

る各拠点間の業務系Webサイトで認証基盤を連携することにより、両社のユーザーが互いの業務サービスを受けることが可能になる。

- ・共通認証基盤モデル：公共機関や企業グループ向けに、多数の企業が共通的に利用できる認証基盤を構築し、各企業の運用負担を軽減することができる。

NTTソフトウェア(株) 営業推進本部 第二営業部 ソリューション営業部門 営業担当主任の永野一郎氏はソリューションの今後の展開について次のように語っている。

「TrustBind/Federation Managerの次期バージョンとして、携帯電話から認証できる機能の追加を考えています。また図3のように、社内ネ

ットワークの認証基盤として利用できるようにして、なおかつインターネットを經由して社外のSAML2.0対応サーバに連携して、Google AppsサービスなどのASPサービスが利用可能になる、といった仕組みも今年度中に取り組んでいきます。

このような取組みを例に、既存のASPベンダーやSaaSベンダーが提供するサービスに対して、認証基盤として幅広く連携していくことも検討しています。」

お問い合わせ先

NTTソフトウェア(株)
 営業推進本部 第二営業部
 ソリューション営業部門
 E-mail : tssol@cs.ntts.co.jp
 TEL : 03-5782-7261
 URL : <http://www.ntts.co.jp/products/trustbind/>